

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

- 黙祷 御言葉に耳を傾け、心を主に向けましょう。
- *賛美 415番
- *交読文 25番
- *使徒信条 会衆一同
- *頌栄 174番
- 礼拝のための祈り 川合ゆきえ姉妹
- 賛美 416番
- メッセージ 栄光の家系の女達 - ウリヤの妻4
罪の増す所に恵みも満ちる(2サムエル記 12:15-25)
- 御言葉を適用する祈り .. 会衆一同
- 賛美 409番
- 献金感謝の祈り パスター
- 報告と歓迎
- *主の祈り 会衆一同
- *祝祷 パスター

祈禱課題

- ・この教会が神の御声を聞いて御心を行う教会となるように
- ・病、貧しさ、悲しみの内にある兄弟姉妹のために
- ・兄弟姉妹達がキリストの香りを豊かに世に放ち、仕事、事業が祝福されるように
- ・主に忠実で御霊に満ちた奉仕者が70名与えられるように
- ・終末の災いに実際に直面している兄弟姉妹の守りのために

祝福の御言葉(下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい)

神は光であって、神には少しの暗いところもない。
 神と交わりをしていると言いながら、もし、やみの中を歩いているなら、わたしたちは偽っているのであって、真理を行っていないのではない。しかし、神が光の中にいますように、_____も光の中を歩くならば、_____は互に交わりをもち、そして、御子イエスの血が、すべての罪から_____をきよめるのである。
 もし、_____にひあ罪がないと言うなら、それは自分を欺くことであって、真理は_____のうちにない。もし、_____が自分の罪を告白するならば、神は真実で正しいかたであるから、その罪をゆるし、すべての不義から_____をきよめて下さる。(1ヨハネ1:5-9)

『主は、ウリヤの妻がダビデに産んだ子を撃たれたので、病気になる。ダビデはその子のために神に嘆願した。すなわちダビデは断食して、へやにはいり終夜地に伏した。』(2サムエル 12:15-16)
 ダビデは七日間、そのように断食して祈った。周りの人が見て、痛々しいと見えるほどに。しかし主は、ダビデが主の敵に大いに侮りの心を起させたために、その子は必ず死ぬ、という宣告を取り下げず、その子は七日目に死んでしまった。
人が祈っても無駄か、というと、そうではない。悔い改めて立ち返るなら、主は災いを思い直される事もある。ニネベの町は罪から立ち直ろうと真剣になったため災いの宣告は撤回されたし、ソドムの町も、アブラハムの執り成しによって、義人が10人でもいるなら、災いは起こらない所まで漕ぎ着けられた。
しかし、いかに人が断食して祈ろうとも、いかに執り成そうとも、主が宣告された通りの事が起こる事がある。 そうなった場合、私達はダビデの取った対応を取るべきだ。ダビデは、子が死んだと分かった時、地から起き上がり、体を洗って油をぬり、着物を替えて、主の宮に入って礼拝してから、家に帰って食事をとった。その事は人々を不思議がらせた。あんなに子のために必死に祈ったのに、死んでしまったのだから、もっと大声で泣き、主に涙と叫びをもって訴えるほうが、理にかなっているのでは、と人は思う。
 しかし、いかに断食し、必死で執り成しても、主が宣告された通りの事が起こったなら、私達はその結果をとやかく言わず、そのまま受け止めるべきだ。ダビデも「あなたが宣告をお与えになるときは正しく、あなたが人をさばかれるときは誤りがありません。」(詩篇 51:4)と告白している。

ダビデは生きながらえ、子は死んだ。そしてこれから、主が言われた通り、剣がダビデの家を離れない。長男アムノン、三男アブシャロムは罪を犯し、殺されて然るべき状況に自ら邁進して刃に倒れたが、いずれもダビデは、不自然な程に、泣き過ぎる程、泣いていた。(2サムエル 13:39、18:33-19:8)
 もしかしたら、「剣はあなたの家から離れない」という、「自分の罪のせい」だと思っていたのかもしれない。ダビデは自分の罪の故に死ぬのではなく、罪を背負い、報いを刈り取りつつ生きなくてはならなかった。 罪の刈り取りは、必ずある。しかし主は、人が一度罪を犯せば罰の中に永遠に閉じ込めたままにされるお方ではない。懲らしめられて悔い、主に帰ろうとする人を、主は憐れまずにはいられない。(エレ 31:18-22)

『ダビデは妻(英訳:「his wife」)バテシバを慰め、彼女の所にはいって、彼女と共に寝たので、彼女は男の子を産んだ。ダビデはその名をソロモンと名づけた。主はこれをお愛された。』(2サムエル 12:24)
 ダビデは、バテシバを「彼の妻」として近づき、慰め、夫婦の営みをした。いかに元々が姦淫によって結ばれ、元夫ウリヤの血に塗られた夫婦であっても、罪の処罰の後には、慰めがあるのだ。
 同じ罪によって、二度も、三度も罰される事は無い。主イエスはただ一度、私達の罪の故に身代わりとなって懲らしめを受け、十字架上で死んで下さった。ただ一度だけである。そしてそこに恵みが増し加わった。そして産まれて来た子を、ダビデは「ソロモン(平和)」と名づけた。ノアの洪水の後に、虹と共に平和の契約が成就したように、キリストの十字架上の処罰によって、神と人との間に平和が実現したように。
 そうしてイエス・キリストの系図に「ウリヤの妻」が記され、ソロモン(平和)が記された。
 まさしく、次の御言葉の通りである。『罪の増し加わったところには、恵みもますます満ちあふれた。それは、罪が死によって支配するに至ったように、恵みもまた義によって支配し、わたしたちの主イエス・キリストにより、永遠のいのちを得させるためである。』(ローマ 5:20-21)

もしダビデが、姦淫と殺人の罪を犯さなければ、ソロモンは生まれず、イエス・キリストも生まれなかったのだろうか。姦淫と殺人の罪は、必然だったのだろうか。決してそんな事は無い。(ローマ 6:1-2)
 ダビデが罪を犯さない状態で人生を過ごしていたなら、剣に追われる事も無く、妻達を公然と寝取られる事も無かったはずだ。ただ主は、人間の罪ごときによって、祝福のご計画を頓挫される事など、決して無い。
たとい人が最悪の罪を犯したとしても、それを最善へと造り替える事の出来るお方である。
 私達は、ダビデのように罪を犯して、剣で追われる生涯を送る必要は無い。むしろ生涯、正しく主に仕え通し、栄光ある者として名を残す皆さんでありますように！ イエス様のお名前によって祝福します！

横浜天声キリスト教会

礼拝 週報



集会案内

各礼拝はインターネットでライブ中継しております → <http://ustre.am/Ydeh> (Yは大文字)

日曜礼拝

1部礼拝(韓国語通訳有) 10:30
食事/フェローシップ 12:00～
2部礼拝 14:00
聖書の学び会(箴言) 15:00

金曜徹夜祈祷会 21:00～

日々の集会

月～金 早天祈祷会 5:00～
火・木・金 賛美と祈りの集会 13:00～
火～木 夜の祈祷会 19:30～

水曜集会

1部 13:00～
2部 19:30～

アクセス

横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅
6番B出口を出てまっすぐ徒歩5分
JR・関内駅より徒歩10分
京急線・日ノ出町駅より徒歩10分

関内駅から伸びる大通公園沿い、
伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、
1Fがファミリーマートになっております。



聖書メッセージを携帯で
聖書メッセージをメールで
毎日携帯にお届けします。
左記コードを読み込み、
空メールを送信するだけ！



〒231-0058

パスター: 林和也

神奈川県横浜市中区弥生町2-17 ストークター大通路公園 I -201

TEL/FAX: 045-326-6211

Homepage: <http://voh.plala.jp/>

email: ephes_03-tensei@yahoo.co.jp



モバイルサイト